

若浜の子ども



令和6年9月18日 第4号

「生活のレベルアップ」を自分たちで ～子どもたちの「あたりまえ」感覚を高める～

2学期がスタートして、3週間が過ぎました。校内のあちらこちらから、子どもたちのやる気に満ちた声が聞こえてきます。どの姿も、自分たちの生活を高めようとする意欲にあふれています。

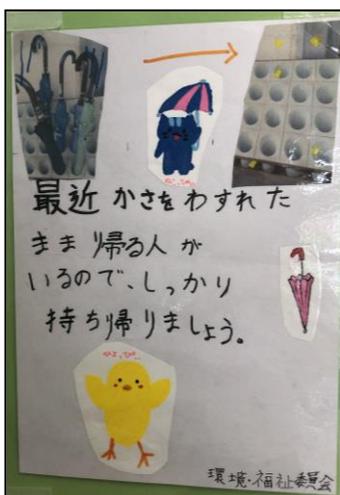
◇「企画委員会からの連絡です。2学期の初めにお願いした『相手のことを考えた廊下歩行』についてですが、とてもよくなってきました。グラウンドに向かう時や休み時間の終わりなど、急いでいる時には早足になることが見かけられますので、気をつけましょう。」

◇「今日の保健給食委員会からのお話は、『朝食の大切さ』についてです。朝ごはんは、勉強への集中力にも影響してきます。…」

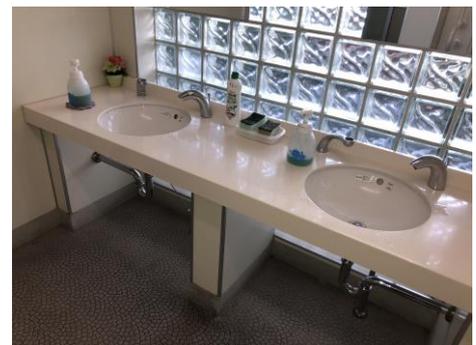
昼の放送にも、子どもたちの自治的な動きが表れています。自分たちの暮らし方はこうあるべきという感覚が高まってきていることを感じます。

また、放課後の「5・6年運動会活動」の時に、集まった子ども達がランドセルを廊下にきれいに並べていました。児童会活動やクラブ活動の時も同様です。子どもたちにとっては、「きちんとランドセルを並べること」が「あたりまえ」の感覚になってきているのだと思います。

このような意識や行動化がレベルの高い生活、そして幸せへとつながっていくのでしょうか。



←↑環境福祉委員会の呼びかけで、傘の置き忘れも少なくなりました。



トイレの手洗い場の使い方もいいになっています。

「全力を楽しもう！」 すてきな運動会スローガンに決まりました!!

運動会への取り組みも始まりました。驚くのは、自分たちの発想でアクションを起こすことの多さです。これまでの取り組み方ですと先生方が指示を出していた場面も、運動会実行委員のメンバーから声がかかるようになりました。

「来週から全校応援練習が始まります。応援団の皆さんは下級生のモデルとなるように堂々とした全力応援を見せてください。下級生の皆さんは応援団の指示をきいて、元気のない応援をしていきましょう。」

今年度は実行委員会の中に広報部門を作り、昼の放送をフル活用して、運動会全体を盛り上げてくれています。

運動会実行委員の皆さん



今年度の運動会スローガンは、「全力を楽しもう」です。これも、実行委員の子どもたちが考え出したものです。「全力を出しきること」と「全力を出しきった後の充実感を楽しもう」という2つの願いが込められています。よく考えたと思います。



9月になって行われた「運動会色決め集会」でも、「全力を出すことを楽しむ」姿がたくさん見られました。



応援団長の皆さん



組頭の皆さん



看板長の皆さん